



麦のタマバへ

驅除法

石灰硫黄合劑有効
小麥の大敵「タマバ」に關する試験を行つてゐる農事試験場は栃木農事試験場だけであるが昭和十年以來研究をつゞけてゐるところ此のほどその成績が明らかとなり發表した、この研究に着手したのは昭和十年河内郡藤井村に此のタマバが跋扈して被害甚大に上り甚だしきは收穫皆無のところさへあつたほどで其の年農林省から栃木農事試験場指定所とされたもので其の後營々研究の結果タマバは他府縣にもあることが判明した栃木縣のタマバへによる被害は年五十萬圓の驚くべき數字を示してゐる。

タマバへは小麥の出穂期と時を同じくして年一回發生し此の頃成虫は麥粒に産みつけ幼虫は粉を糞分として生育するためこの害にかゝつたものは萎びて麥としての價値は全然存せず甚だしきは腐つてしまふと云ふ恐るべき害を及ぼすものである、驅除法は石灰硫黄合劑が最も有効であると折紙がつけられた、その方法は出穂二、三分鐘とその後四、五日間隔を置いてさきの石灰硫黄合劑を反當り一升を百倍の水で溶解した〇・四度液を噴霧器で穂に撒布するこの費用は、

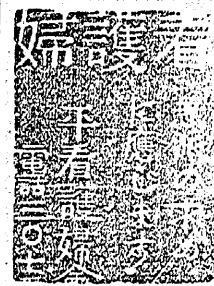
三回で六十錢と云ふ安價でありまけに銹病、うどん粉病、赤黴病等の豫防にもなり一石三鳥の効果を有する、昨年五月

十、十三、十七日の三日間を同縣芳賀郡祖母井の實験地の効果は次の通りである、

撒布粒	〇	害粒	〇
無撒布	〇	害粒	〇
健全	〇	害粒	〇
撒布粒	〇	害粒	〇
無撒布	〇	害粒	〇
健全	〇	害粒	〇

(終り)

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 三三三屋 平市 田町
用命は



十、十三、十七日の三日間を同縣芳賀郡祖母井の實験地の効果は次の通りである、

撒布粒	〇	害粒	〇
無撒布	〇	害粒	〇
健全	〇	害粒	〇
撒布粒	〇	害粒	〇
無撒布	〇	害粒	〇
健全	〇	害粒	〇

(終り)

お醤油は ヤマフル

醤油味増
たひら正宗
健節食料品



山崎合名會社

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

夏の帽子
麥一文字こ子供帽

パラソル
二重張と晴雨兼用傘

ツルヤ 平電一四〇

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

高久病院
院長 醫學士 高久忠

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 大岩俊雄
藥局
平市新川町九一
入院隨意 病室完備
木村病院
電話一六四番

債券 公債 両替 金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

和洋鋼鐵、金物問屋

店商屋釜

九九・九番

社員招聘

一、外務員 若干名

(イ) 年令二十五歳以上五十歳以下ノ男子ニシテ
身体壯健、身元確實、努力ノ人、
希望者ハ履歴書持参來社ノコト、
給料手當其ノ他面談ノ上、
右業務擴張ノ爲メ優遇招聘ス
營業公債債券 平市銀治町十八番地
現物買賣 日本商事
融 株式會社 平支部
目金 融 電話七三六番

大河内

整形科醫院
平市搔搦小路
電話五八八番

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町一電話三六九番

藤沼醫院

平市紺屋町 電話五〇七

ス・イン G・H・N 元話
ゴルフポートワイン
甘味 糖 酒 1・20

伊婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です
(平2) 西村屋藥舖 (電3)

専門 皮膚科
泌尿器科
性病科
科科科

診療時間 午前八時より
午後九時まで

院醫尻江

醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番

「看護見習募集」
明雲堂眼科醫院 (電話六六九)
平田町(三丁目裏川岸通)
入院應需(自炊の便あり)